

その他災害編 ④ 「雪害・航空機災害・火災」

雪害に備える

千歳市は、道内では降雪の少ない地域ですが、急速に発達した低気圧などがもたらす大雪により、市内でも道路の交通障害や農業被害、送電線への着雪による停電などの災害が発生するおそれがあります。

防災ひとくちメモ ⑧

大雪に関する紹介

令和4年2月には、千歳市において積雪の深さが観測史上1位(123cm)となる大雪に見舞われ、新千歳空港では、2月21日～23日の間で484便が欠航、約660人が空港内で宿泊するなど、大規模な交通障害が発生しました。



注意報・警報の発表基準値(石狩南部:千歳市)

大雪注意報



平地 **20cm/12h**の降雪
〔山間部 **30cm/12h**〕

大雪警報



平地 **30cm/6h**または
40cm/12hの降雪
〔山間部 **50cm/12h**〕

風雪注意報



平均風速 **11m/s**
〔雪による視程障害を伴う〕

暴風雪警報



平均風速 **16m/s**
〔雪による視程障害を伴う〕

航空機災害に備える

千歳市には、新千歳空港と航空自衛隊千歳基地が所在するため、飛行場及びその周辺における航空機災害の発生に対し、日ごろから備えておかねばなりません。

市では、航空機災害が発生した場合に関係機関と連携し、速やかに応急対策などが行えるよう航空機災害応急対策計画を策定し、防災体制の整備に努めています。

万が一、航空機災害が発生した場合は、防災行政無線や緊急速報メール、広報車などにより、災害に関する情報を伝達しますので、正しい情報を確認し、あわてず冷静に行動するようにしましょう。



新千歳空港ターミナル

異常気象による大雪や火の不始末による火災に注意しましょう。

火災に備える

住宅防火 いのちを守る10のポイント

災害時における火災は被害を何倍にも大きくしてしまいます。災害時に限らず、日常生活においても火災は発生しやすいので常に気をつけましょう。



4つの習慣

- 1 **寝たばこ**は絶対にしない、させない
- 2 **ストーブ**の周りに燃えやすいものを置かない
- 3 **こんろ**を使うときは火のそばを離れない
- 4 **コンセント**はほこりを清掃し、不要なプラグは抜く

6つの対策

- 1 火災の発生を防ぐために、**ストーブ**や**こんろ**等は**安全装置**の付いた機器を使用する
- 2 火災の早期発見のために、**住宅用火災警報器**を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- 3 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、**防災品**を使用する
- 4 火災を小さいうちに消すために、**消火器**等を設置し、使い方を確認しておく
- 5 お年寄りや身体の不自由な人は、**避難経路**と**避難方法**を常に確保し、備えておく
- 6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、**地域ぐるみ**の防火対策を行う

住宅用火災報知器の設置

消防法及び条例により、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。

- 住宅用火災警報器には煙に反応するタイプ(**煙式**)と、熱に反応するタイプ(**熱式**)があり、条例で義務付けられている感知器は**煙式**です(台所では料理の煙などにより誤作動を起こす可能性があるため、熱式にすることができます)。
- 住宅用火災警報器の基本的な取り付け場所は、**台所**と**寝室**です。**寝室が2階の場合は階段**にも設置が必要です。
- 万が一、火災が発生した場合、きちんと住宅用火災警報器が作動できるよう日頃からお手入れと作動確認をしましょう。



消火器の使い方

- 1 安全ピンに指をかけて上に引き抜きます。
- 2 ホースを外して火元に向けます(できるだけ先端をもつ)。
- 3 レバーを強く握ると消火剤が噴射されるので、煙や炎ではなく、火元に吹き付けます。



注意!
消火のあとも熱が残っていると再発火するおそれがあるので注意しましょう。



注意!
消火器の設置は日の当たる場所や湿気が多い所を避けます。